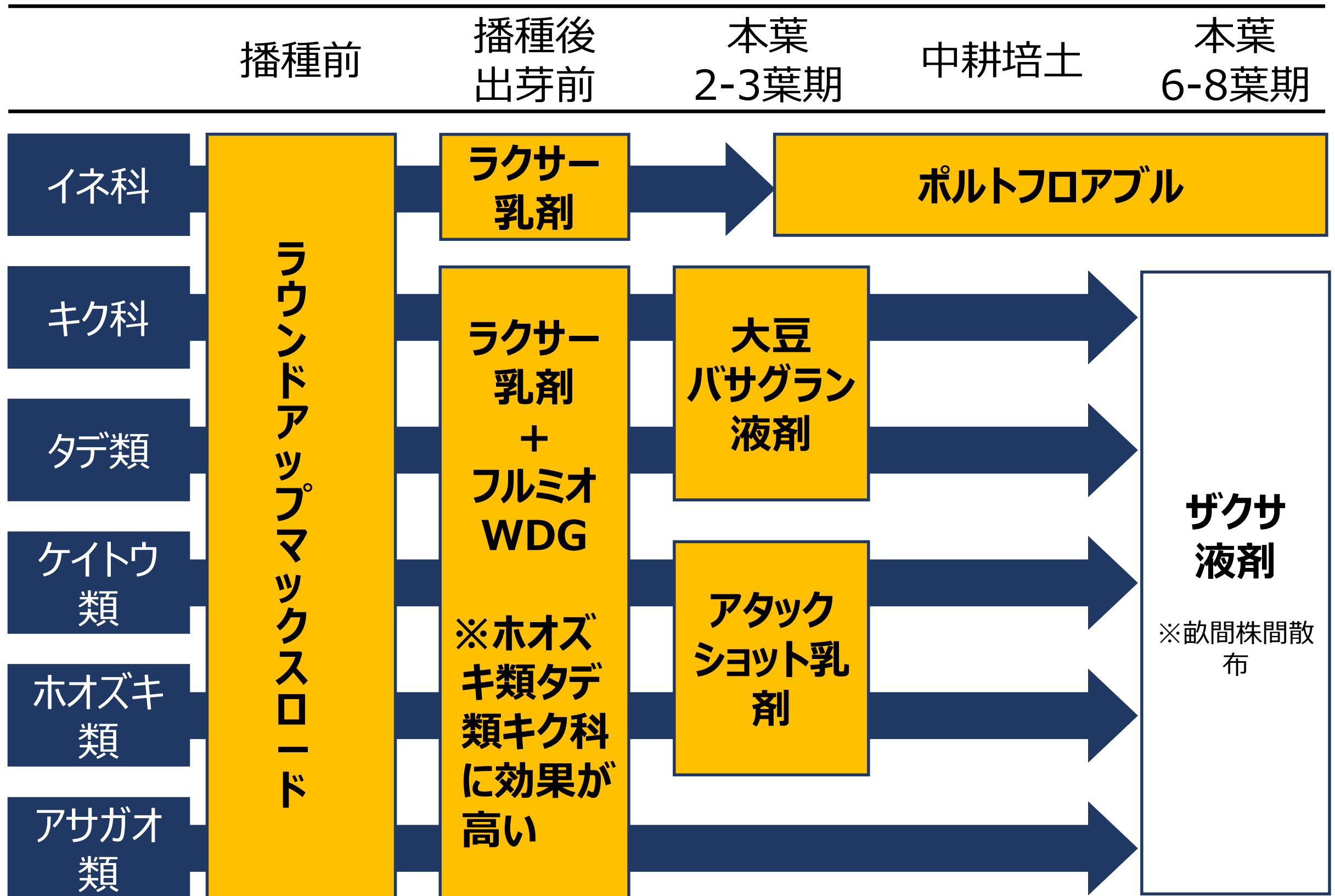


# 雑草の種類別の防除体系



# 使用時期別除草剤一覧①

播種前	ラウンドアップ マックスロード	耕起前又は 出芽前まで (雑草生育期)	200～ 500mL	50～100L	
	サンフーロン液 剤	播種10日以前又は 出芽前まで (雑草生育期)	250～ 500mL	25～50L	
播種後処理	ラクサー乳剤	播種後出芽前 (雑草発生前)	400～ 800mL	100L	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果をもとめるために、播種前の碎土や整地を丁寧に行う。</li> <li>・覆土が浅いと出芽不良等の薬害を生じることがあるので、深さは必ず2～3cmとし、軽く鎮圧する。</li> <li>・粒剤は散布ムラに注意する。</li> <li>・ラクサー乳剤はクリアターン乳剤より、広葉雑草、特にホソアオゲイトウに対する効果が高い。</li> </ul>
	ラクサー粒剤		4～8kg	—	
	サターン バアロ乳剤	は種後出芽前	600～1000mL	100L	
	フルミオ WDG	播種後出芽前 (雑草発生前)	5～10g	100L	

# 使用時期別除草剤一覧②

生育期処理	ポルトフロアブル	イネ科雑草 3～10葉期 (収穫30日前まで)	200～300ml	50～100L	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅効性でありイネ科雑草を完全に枯殺するまで～日を要する。</li> <li>・水稻には薬害があるので、周囲に水稻がある場合は薬剤が飛散しないように注意する。</li> </ul>
	アタックショット乳剤	大豆2葉期～開花期 (雑草生育期 但し、収穫45日前まで)	30～50ml	100L	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イネ科雑草には効果が無いので、イネ科雑草が混在する場合は、ポルトフロアブルを混用する(混用すると薬害が出やすくなるが、新葉には影響はなく、次第に目立たなくなる)</li> <li>・キク科、カヤツリグサ科には効果が劣る場合があるため、それらが優先するほ場での使用はさける。</li> </ul>
	大豆バサグラン液剤	大豆2葉期～開花前 広葉雑草 生育初期～6葉期 (収穫45日前まで)	100～150mL	100L	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イネ科雑草には効果が無いので、イネ科雑草が混在する場合は、ポルトフロアブルを混用する(混用すると薬害が出やすくなるが、新葉には影響はなく、次第に目立たなくなる)</li> <li>・また、広葉雑草でも、エノキグサ、アカザ、シロザ、イヌビエ、ホソアオゲイトウ等には効果が劣るので、これらが優先するほ場では使用をさける。</li> </ul>
畝間処理	ザクサ液剤	収穫28日前まで (雑草生育期、 は種・定植前 又は畝間処理)	300～500mL	100～150L	大豆本葉5葉期以降、雑草生育期に畝間処理する。